



な どし さい
夏越祭 (7月29日)
 無病息災 除災招福

— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

岡田宮

❖ 岡田宮夏越祭 ごあんない ❖

第 53 号
 平成24年7月吉日
 発行 岡田宮社務所
 北九州市八幡西区岡田町1番1号
 郵便番号 806-0033
 電話 (093) 621-1898
 FAX (093) 621-5330
 URL <http://www.okadagu.jp/>
 E-mail okadajinja@jcom.home.ne.jp

- 「お札」と「茅」を授与いたします。
ふだ 「お札」と や 「茅」を授与いたします。
 魔除けとして玄関に奉斎して下さい。
- 無病息災・除災招福御神酒接待
 ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。
- かき氷 一〇〇円
 地元青年会の屋台がたちます。

当日ご参拝の方に
 大祓神事 午後六時より
 どなたでも参加できます。
 参列の方には大祓詞をさしあげます。
 ふるってご参加ください。

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

平成一十四年七月二十九日(日) 午後六時～九時
 (雨天決行)

目次

夏越祭ごあんない	1
総代会研修旅行 (博多総鎮守櫛田神社参拝と博多の町散策の旅)	2
郷土地名考 ⑤③	3
神社なげなげ問答 ⑤③	3
七五三	4
巫女奉仕者募集	4

かりとり
無料券



当日この券をご持参ください
 かき氷が無料になります。

総代会研修旅行より

博多総鎮守櫛田神社参拝と博多の町散策の旅



櫛田神社にて

今回の研修旅行は福岡県博多の旅です。朝早くからバスに乗り、まずは博多総鎮守・櫛田神社での正式参拝です。

正式参拝を終え、阿部宮司様に櫛田神社の御祭神や社殿の造り、境内について説明していただきました。櫛田神社は地域密着型の神社であるというお話を受け、岡田宮と同じですね、と宮司・総代の方々と話は弾みました。阿部宮司様のお話を受

け、より一層岡田宮の発展に尽力をつくしていこうと総代の方々は思ったことでしょうか。

櫛田神社正式参拝を終え、次にすぐ近くの博多町家ふ



東長寺五重塔

るさと館、博多大仏東長寺を見学。次はお待ちかね、昼食を博多百年蔵で頂きました。昔ながらの造りの酒蔵で頂く食事は、話も弾みとても美味しかったです。お腹もいっぱいになったところで、次は元寇資料館にて勉強です。元寇資料館近くには、亀山上皇・日蓮聖人の銅像が建てられています。様々な史料を通して、平和の尊さ、命の大切さを学ぶことができました。今回も好天に恵まれ、とても有意義な研修旅行ができました。お忙しい中、おもてなしいただきました櫛田神社の皆様には心より感謝申し上げます。

郷土地名考 53

菜園場(さいえんば)

小倉が細川藩政の頃、藩主の菜園があったことから菜園場。企救郡史に「菜園場村に御先代より引米という有之は、細川様の御楽しみに野菜を造りし処なり」とある。引米とは免税。

近くには藩の窯があり、市教委が発掘調査、保存している。上野焼発祥の由来もある。



県指定文化財、菜園場窯跡

神社 なぜ 問答

(その53)

神社の紋章について

教えて下さい。

各家の家紋と同じようにそれぞれの神社にも紋章が用いられており、これを神紋(しんもん)と称しています。

我が国における紋章の起源は、平安時代に公家社会において用いられた紋章に遡ることができます。初めは各自の好みの文様を、それぞれの衣装や調度に装飾的な意味で用いていましたが、だんだんと父祖伝来の文様が慣用されるようになり、一族の文様として定着していきました。

その後、武家社会においては、戦地において敵と味方を瞬時に判別する必要から、旗指物などに一族の文様を描くようになりました。一族の団結の象徴でもあるこの文様は、目印としての実質的な意味合いが強くなり、次第に簡略化されて、現在のような家紋の形となっていくのです。

さて、神社における神紋についてですが、この成立に関して幾つかに分けることができます。

まず一つは、神社に縁深い神木などの植物、祭器具などを表したものが神紋として用いられる場合で、大神(おおみわ)神社の神杉などを例としてあげることができません。

二つ目は伝説や伝承などに基づくもので、菅原道真公を祀る天満宮の梅紋は、道真公が生前に梅の花をこよなく愛でたという伝承により、神紋として用いられたものといわれています。

三つ目は家紋から転用されたもので、これは歴史上の人物をお祀りする神社に見られるものです。徳川家康公をお祀りする東照宮では、徳川家の家紋である葵紋が、神紋となっています。

このほかに、神紋には神仏習合に関わるものや、天体氣象に関するものなど、さまざまな文様が用いられており、人々の篤い信仰と歴史的背景を現す象徴ということができません。



静岡・久能山東照宮



京都・北野天満宮



奈良・大神神社

七五三

七五三祭は、子供の成長にともない節目々々に神社にお参りして、いつそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によつて必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成二十四年の七五三の年齢は、左記のとおりです。ご家族おそいでお参り下さい。

記

- 三歳 平成二十二年生 (かぞえ齢) 平成二十二年生 (満年齢)
- 五歳 平成二十年生 (かぞえ齢) 平成二十年生 (満年齢)
- 七歳 平成十九年生 (満年齢) 平成十八年生 (かぞえ齢) 平成十七年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、満年齢でもかまいません。
※毎日午前九時より午後四時半まで受付をしています。



巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神札やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所

電話 (621) 一八九八

までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上

未婚の方

※書類審査・面接が有ります。



できれば髪の長い方希望
茶髪不可(程度によります)



スタジオカラーズ
STUDIO COLORS
produced by 写真興隆

北九州市八幡西区岡田町1-44
TEL 093-621-2080

■営業時間 10:00~17:00
■定休日 水曜日

撮影衣装・着付・ヘアメイク無料

¥10,500~

(四切1枚・台紙付)

七五三お出かけレンタル衣装

¥3,150~ (お一人様)

新作ブランド衣装など多数取り揃えております